

# 農業用語の基礎知識（稲作）

## 1 栽培管理

用語	読み方	意味
催芽	さいが	種まきの前に、種粃を水に何日間か浸して発芽を促します。
播種	はしゅ	種まきのこと。催芽したものを播きます。
芽出し	めだし	種まき後に芽が出揃うようにします。
育苗	いくびょう	苗を育てる。芽出し後育苗に入ります。
育苗日数	いくびょうにつすう	種まきから植え付けまでの日数。
灌水	かんすい	水やりのこと、稲作の場合は育苗期に行う、朝早くが基本。
圃場	ほじょう	水田や畑のこと。
畦畔（畦）	けいはん（あぜ）	水田の周りの土手のこと。
畦塗り	あぜぬり	田んぼに水がしっかりと張れるように、畦を整備すること。
耕起	こうき	耕し起こすこと。
湛水	たんすい	水田に水を張り、溜め続けること。
代掻き	しろかき	水田に水を入れた状態で攪拌することで泥状にすること。漏水防止や均平、植付姿勢を良くし移植（田植え）をしやすくします。
田植え	たうえ	代掻きで準備した水田に、育てた苗を移植します。
除草	じょそう	稲の生育を悪くする雑草を除去すること。
水管理	みずかんり	田植え後は水の調整がおもな仕事になります。
減水深	げんすいしん	水田に張った水が1日単位で何センチ減るか。
深水	ふかみず	水深を深くすること。低温や風の強い日に稲を保温・保護、初期生育で過剰分けつの抑制、除草効果対策。
中干し	なかぼし	分けつが最終段階の頃に田面を干します。無効分けつ止め、ガス抜き、根張り等の対策。
かけ流し	かけながし	水を入れながら、排水口（尻口）から流し出す。
走水	はしりみず	稲刈り前、コンバインがぬからないように乾かしますが、稲のためにさあっと水を入れます。
施肥	せひ	肥料を施すこと、散布すること。ブロードキャスタによる基肥散布が行われています。
基肥	もとひ	元になる肥料ですから、作付前に施肥します。
追肥	ついひ	生育にあわせて追加の施肥をすること。
全層施肥	ぜんそうせひ	水田の作土層（耕起される土層）全面に窒素肥料が混合するように施肥する方法をいう。基肥のうちに入る。
側条施肥	そくじょうせひ	稲の苗を植えたスジを1条2条と数えます。その側に撒く肥料だから側条施肥といいます。田植機に肥料を撒く機能が取り付けられてあり稲の苗を田植え機で植えると同時に苗の側（そば）に肥料を撒いていくこと。基肥のうちに入る。
稲刈り	いねかり	稲穂が熟して玄米となると収穫です。
乾燥機	かんそうき	脱穀した粃を機械の火力、風力で乾燥します。
粃すり	もみすり	乾燥が終わり、粃殻を取り除き玄米にする作業のこと。。
選別	せんべつ	玄米を一定の大きさ以上の良質米と未熟なものにと振り分ける。
袋詰め	ふくろづめ	選別した玄米を30kgずつ袋に詰める。
色彩選別	しきさいせんべつ	害虫などの被害をうけた着色米などを取り除く。

## 2 資 材

用語	読み方	意味
農薬	のうやく	病気や害虫、雑草対策などで薬品にて防除するもの。
堆肥	たいひ	植物性のもの、稲わらや落ち葉などを腐らせたもの。
厩肥	きゅうひ	動物性のもの、主に牛、馬の排泄物を腐らせたもの。
有機質	ゆうきしつ	植物や動物から由来したもの、残渣、排泄物等。
無機質	むきしつ	鉱物などから、科学的に作り出したもの。
窒素	ちっそ	植物体の形成に一番重要な要素で、少ないと生育障害、多いと病害虫を促してしまう。
リン酸（磷酸）	りんさん	主に茎葉や根の伸長を助け養分吸収がよくなります。
カリ（加里）	かり	植物体の抵抗力など、強度的に必要な要素です。

## 3 稲の成長

用語	読み方	意味
種籾	たねもみ	種まきするための籾です。
催芽	さいが	種まきの前に少し芽（ハト胸状）を出します。 催芽は発芽始め～1mm程度までが目安です。
葉齢	ようれい	イネの生育ステージを主稈（親茎）の葉の枚数で表現したもの。葉身のついた本葉を第一葉と呼ぶ。
中苗	ちゅうびょう	目標とする葉齢は3.1～3.5葉、育苗日数は30日を目安とする。
成苗	せいびょう	目標とする葉齢は3.6～4.3葉、育苗日数は30日～35日を目安とする。
分けつ	ぶんげつ	葉齢5葉ごろから、根本から分かれて増えていく。1本から20～30本にも分かれる。
幼穂形成期	ようすいけいせいき	茎の根本の中に稲穂が出来て成長してくる。
出穂	しゅつすい	幼穂が成長して、茎の上部から出てくる。止葉から穂の先端が少しでも出たもの。
出穂期	しゅつすいき	40～50%出穂した時期。
穂揃い	ほぞろい	田面内の出穂が90%出揃った時期。
開花	かいか	出穂すると開花が始まります。
受粉	じゅふん	玄米を形成するために、開花して受粉（自家受粉）します。
登熟	とうじゆく	成熟が進むと、籾内が充実してきて、やがて穂全体が傾きだします。
胴割れ	どうわれ	登熟期に圃場を干しすぎたり、刈り取りが遅すぎると、玄米にひびや割れた物が出ること。



